

# Science サイエンス in Koma



## 櫛形山研修 7月29日(月)

地域の学校間交流事業の一つとして、今年度も櫛形山をフィールドとして、本校生徒と小笠原小学校、豊小学校の児童が水中昆虫の採集などの野外実習を行いました。生きた自然科学を学ぶとともに、生命について考える機会となり、また、小学生と一緒に取り組むことにより、思いやりの心を持ってコミュニケーションを図ることの大切さを学びました。

## 日本科学未来館訪問 9月20日(金)

エネルギー教育推進事業の一環として、東京の日本科学未来館で1・2年理数創造コース、2年理系コース及び希望者計116名が参加して研修を実施しました。生徒からは「身近な現象を科学的に見つめることができた。」「学んだことでさらに疑問が深まった。」「科学のおもしろさを実感できた。」「視点を変えて考えることの大切さをおしえられた。」などの感想が寄せられており、最先端の科学技術に触れ、自然科学への興味関心が深まるとともに、今後の学習への意欲や関心がさらに高められた研修でした。



## 高大連携講座 6月1日(土)・9月14日(土) 11月9日(土)・11月16日(土)

山梨大学工学部・生命環境学部の教授を招待し、講座を実施しています。年4回のうち2回を6・9月に実施しましたが、最先端の研究について生徒に分かりやすく説明し、興味を持たせてくれる講座でした。また、大学で学ぶとはどういうことかを生徒に考えさせる内容もあり、今後の進路を考える上でも大いに参考になりました。



## 第65回 白嶺祭

6月21日は桃源文化ホールで、音楽部、箏曲部、吹奏楽部、そして1・2年生のステージ発表が行われました。22日、午前は体育館で3年生のステージ発表、午後は、クラス企画や文化局各部の展示など様々な企画が行われました。また、食堂西や体育館東には、1・2年各クラス、保護者の方が準備した屋台も開店し、大変賑わいました。

### 心を1つに…全校制作

今年の全校制作は前日の強風のために、公開日は展示をやめました。しかし、使用した牛乳パックはトレイットペーパーとして再利用されます。生徒一人一人の各家庭から提供してもらうことから始まり、絵のつなぎ合わせ、屋上でのつり上げなど、全校生徒の様々な思いが1つになった制作活動でした。



## 地域の憩いの場となるように…

### 吹奏楽部・フロントコンサート

音楽を通じて人々との交流を図り、南アルプス市を元気にすることを目標として、毎月1回、日曜日の午前、南アルプス市美術館の敷地で、吹奏楽部のフロントコンサートが行われています。8月にはCATVの取材も受けました。季節に合った曲、クラシックからポピュラー曲まで、プラスバンドの美しい音色が響きます。



### インターハイ出場



弓道部 杉山彩乃【甲西中学校出身】

私たち弓道部は今回のインターハイ出場に向けて、巨摩高の顧問の先生だけでなく、他校弓道部の先生方からも適切なアドバイスを多くいただき、個人としてもチーム全体としても競技力が向上しました。団体戦なのでチーム皆でカバーし合って優勝を目指すこと、そして何よりも3年の先輩にとって最後の試合なので、よい思い出となるように、弓を一本一本大切に引くことを意識しました。

本番は一回戦の競射で、相手を意識せず、仲間をひたすら信じるという気持ちになるのに時間がかかりました。私は落を務めさせていただきましたが、勝つことも負けることも私にかかっていたので大きなプレッシャーがありました。

来年もインターハイに出場し、より上位の成績を目指したいと思います。

※8月7日～10日、宮崎県で開催された全国高校総体弓道大会。男子個人では3年の秋山颯良君が、決勝射2本目まで進出。女子団体では7位に入賞しました。また、9月8日、東京都で開催された関東高校個人選手権選抜大会では、鈴木葵選手(2年)が、準優勝をおさめました。



### インターハイ出場



ホッケー部(女子) 丸山輝笑【白根巨摩中学校出身】

私は3年間の部活を通して、辛いことも苦しいことも仲間がいれば乗り越えられることを学びました。宮崎県で行われたインターハイでは、慣れない暑さで体力的にも辛く、強豪校との戦いに強いプレッシャーもありました。しかし、たくさんの方の応援や指導してくださる先生の適切なアドバイスがあり、仲間とも常に声を掛け合い、最後まで強い気持ちで集中して戦い続けることが出来ました。悔しい結果となりましたが、私を含め、選手は皆競技的にも精神的にも成長でき、次につながるいい試合だったと思います。

### インターハイ出場



陸上競技部 中込 空【増穂中学校出身】

私は8月7日、陸上競技の3000m障害という種目でインターハイに出場しました。関東大会の直前に怪我をしてしまい、その時はあきらめかけました。しかし、指導の先生の助けや仲間の支えがあり、奇跡的に関東大会を勝ち抜くことができました。インターハイでは前の選手に食らいついていこうと意識していましたが、0・8秒足りず決勝進出を逃しました。悔しい結果になりましたが、全国レベルを体感し、得られるものもたくさんありました。これから大学進学を目指しますが、進学後も競技を続け、各大会で活躍し、周囲の期待に応えられる選手になりたいと考えます。

※中込君は8月25日の群馬県で行われた関東陸上競技選手権大会で、男子3000m障害で優勝しました。

### 関東大会出場



山岳部 小越健生【増穂中学校出身】

登山は一歩間違えば命に関わるスポーツである。多くの人たちの支えが絶対必要で、山、地形、天候、怪我をしたときの応急処置の知識も重要になる。大会本番まで様々な練習登山や合宿で先生から指導をいただいた。関東大会は主に2日目に登った。1日目は雨で、荷物を濡らさないように素早くテントを建てた。炊事は役割分担をして効率を心がけた。登山行動中は大きな問題はなかった。いくつか他県チームが後れをとる危険な箇所も、私たちは慎重に進み、突破することができた。

2泊3日の間に登山技術が向上したと、チームの皆が確信している。さらに経験を積み、来年度も大自然に挑戦したい。

## ユネスコスクール活動報告 スクールフードドライブキャンペーン



十分な食事が取れない子どもがいる家庭への食糧支援を行っている、NPO法人フードバンク山梨。本校では、7月下旬に生徒の家庭から、利用可能な食品を集め、フードバンク山梨に寄付しました。また、8月の夏季休業を利用して計81名の生徒が、食品仕分け作業ボランティアに参加しました。

### 3年 宇佐美 翔流【白根御勅使中学校出身】

私はスクールフードドライブに参加し、外国だけでなく、日本にも食べ物が十分に摂取できない家庭があることを知って、衝撃を受けました。そして1人でも多くの子どもが笑顔になるようにと、指示された仕事に一心に取り組みました。暑い中、重い荷物を何度も運びましたが、作業を終えてスタッフの方から感謝の言葉を頂き、大きな達成感を得られました。私は将来、福祉の仕事に就き、地域の人々に役に立ちたいので、その進路実現のために努力していきたいです。

文武両道 !! コレが巨摩スタイルの 実力!

